

平成29年度

印西市民アカデミーだより

第22号

第22回 印西市民アカデミー〈1月27日〉

講座 43 〈歴史〉

講座名：『行商の歴史を学ぶ』

講師：千葉県教育庁教育振興部文化財課 小林 裕美氏

会場：そうふけ公民館 10:00~12:00

東京向け行商は、明治末期に行徳方面で始まり、大正期を通じて行商人の活動が盛んになりました。

東京では都市化に伴う食糧需要が急増したため、不況にあえぐ農家が副業として、女性が野菜を売りに行商に出ました。成田線我孫



千葉県で行商が盛んになった理由は…

子支線の行商者数は、昭和12年に609名でしたが昭和29年には2060人と激増しています。一人で70kg以上の大量の荷物を持ち込む者もいて、



中央公民館コピーの「行商」の絵

鉄道側は乗車整理・社内整理に苦労したそうです。

野菜や米の産地でもある印西地区でも木下駅や小林駅から大勢の女性の行商人が東京方面に向かいました。品ぞろえの良さと新鮮さを売りにお客を大事にしたことからよく売れたそうです。中には1日2往復・3往復する者もいたそうです。現在、鉄道を利用して行商に出る人は減りましたが、トラックを使った行商や宅配便の利用など形態を変えて続いています。

印西市民アカデミー生募集

印西市民アカデミー第21期生の募集が、3月1日（木）より始まります。詳しくは、3月1日発行の「広報いんざい」及び「印西市HP」をご覧ください。お待ちしております！



初めて知ることばかり…

講座 44 〈健康〉

講座名：『救急救命について』

講師：日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 安松 比呂志氏

会場：そうふけ公民館 13:30~15:30

本日は、救急医療の現場に従事している安松先生から、日本の救急医療体制や救命救急センターの業務等について学びました。日本国内の救急搬送件数は、1年間に6210082件、1日17013件、1時間708件、1分11件で今後も増加



傾向にあります。高齢の傷病者の増加、急病の傷病者の増加、不適正利用者の増加、転院搬送の増加が主な



現場に向かうドクターヘリ

理由だそうです。安松先生の勤務する日本医科大学千葉北総病院の救命救急センターには2001年10月よりドクターヘリが配備されていて、大きな成果を上げているそうです。特に、重症患者の救急医療の現場のお話からは、緊迫した中で懸命に対処するスタッフの姿を垣間見ることができました。

第23回の予定

■期日：2月8日（木）10:00~15:30

◇講座45 〈市民活動〉10:00~12:00

講座名：『世代間交流学習に向けて』

講師：社会教育指導員

会場：牧の原地域交流センター



◇講座46 〈市民活動〉13:30~15:30

講座名：『世代間交流学習（小学生と交流）』

講師：牧の原小学校1年生&担任

会場：印西市立牧の原小学校